

令和4年度 第2回 向日市国民健康保険事業の運営に関する協議会会議録

- 1 日 時 令和5年2月1日(水) 午後2時～2時43分
- 2 場 所 向日市役所 大会議室
- 3 出席委員 香本会長・佐々木副会長・河合委員・梅地委員・橋井委員
堀委員・若江委員・山口委員・中川委員・山本加津子委員
大島委員・山本哲也委員・福井委員(13名)
- 4 欠席委員 平田委員・築山委員(2名)
- 5 傍聴者 0名
- 6 議 題 (1) 向日市国民健康保険条例の一部改正について(諮問)(案)
- 7 報告事項 (1) 令和5年度納付金等の京都府本算定結果について
(2) 医療と健診結果の実態と健康づくりへの取り組みについて
- 8 その他

議事(要約)

- 1 市長あいさつ
- 2 諮問(案)
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 議題
(1) 向日市国民健康保険条例の一部改正について(諮問)(案)

<事務局からの説明>

- ・国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、以下の内容を改正する。

出産育児一時金を 42万円→50万円(諮問事項)

後期高齢者支援金等賦課限度額を 20万円→22万円(諮問事項)

5割軽減基準額 43万円+(28.5万円→29万円)×被保険者数

2割軽減基準額 33万円+(52万円→53万5千円)×被保険者数

- ・試算では賦課限度額の改正により、限度額超過世帯は2世帯減。
- ・試算では軽減基準の改正により、5割軽減世帯では19世帯、2割軽減世帯では18世帯増加となる。

<委員からの意見>

- ・諮問(案)については異議なし

5 報告事項

- (1) 令和5年度納付金等の京都府本算定結果について

<事務局からの説明>

- ・京都府全体の歳出について、医療費を1,678億円と見込み、被保険者数の減少により、前年度と比較し63億円減少となる。
- ・歳入について、前期高齢者交付金の概算交付額が25億円増加し併せて、精算額として3億円の追加交付となり、結果が28億円の増加となる。納付金は646億円となり、被保険者一人当たり134,396円、3.9%の増となる。

- ・向日市の納付金は13億円、前年度より8,000万円の減となる。被保険者一人当たり142,000円、7.0%の増となる。
- ・本市の標準保険料率算定結果は、医療分の所得割9.42%、均等割34,609円、平等割22,069円、後期高齢者支援金分の所得割3.09%、均等割10,970円、平等割6,995円、介護分の所得割2.91%、均等割12,441円、平等割6,107円であった。
- ・令和5年度本市の保険料は、一人当たり保険料は、約147,000円となるが、償還額相当額を年度間の公平性の観点から調整し、標準保険料より13,900円低い133,100円の設定ができる見込みである。

(2) 医療と健診結果の実態と健康づくりへの取り組みについて

<事務局からの説明>

- ・向日市の健康課題として、食生活や運動習慣に起因したメタボリック症候群・脂質異常症の人が多く、このことにより血管を傷つけ、重症化すると虚血性心疾患や脳血管疾患を発症するリスクがある。
- ・糖尿病や慢性腎臓病の医療費割合が高く、重症化すると人工透析へ移行し、さらに医療費が高額になる。
- ・健康課題に向けた取り組みとして、特定健診を受けておられない方への効果的な受診勧奨の実施
- ・メタボリック症候群の方への保健指導として特定保健指導の実施
- ・糖尿病性腎症重症化予防事業として、特定健診の結果で糖尿病が重症化するリスクの高い人を選定し、家庭訪問における受診勧奨や保健指導・栄養指導の実施
- ・高血圧重症化予防事業として、特定健診で血圧が160/100以上の方のうち、治療をされていない方や治療を中断しておられる方を選定し、家庭訪問による受診勧奨・保健指導・栄養指導の実施
- ・今後も継続的に取り組みを続けていきたい。

<委員からの意見>

- ・糖尿病性腎症重症化予防の効果として、人工透析の人数の減少に繋がっているのか。
- ・疾病別医療費の状況で、平成30年、令和元年の第1位が慢性腎臓病、令和2年3年は、第1位が糖尿病、第2位に慢性腎臓病となっている。これは、重症化予防と関係があるのか。
- ・向日市は京都府に比べて、特に男性で運動をあまりしない。メタボが多いというのは生活空間の影響や周りの環境の影響があるのか。

<事務局からの説明>

- ・新規の透析の導入者数は、減少後横ばいで推移しているが、重症化予防事業での訪問は、特定健診を受けられた方であり、未受診の方になると、介入ができないという難しさがある。

- ・影響については、難しいところもあるが、糖尿の患者は非常に増えており、悪化させないということで力を入れて頑張っている。
- ・市全体が狭いということもあり、利便性が高いことが考えられる。利便性と相反するものがあるとも考えられる。

6 その他

<事務局からの説明>

- ・令和4年度国民健康保険事業運営研修会についてのご案内